

放射線リスクコミュニケーション 相談員支援センター だより

平成 27 年 9 月 5 日に檜葉町の避難指示が解除されました。

東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故により、檜葉町全町に出されていた避難指示が解除されました。全町に避難指示が出されていた地域での避難指示解除は、初めてとなります。

帰還が始まった現在の檜葉町の様子について、檜葉町役場の方が商店を営む方にお話を聞いて寄稿してくださいました。ここでは、その内容を紹介いたします。

【檜葉町で商店を営む方のお話】

「9月5日の解除を迎え、準備宿泊の時よりも檜葉に泊まったり様子を見に来る方が増えたように感じています。檜葉に戻っていない方についても、自宅のリフォームを始める方や、庭や畑の手入れをする人が増えていて、今後は回りの状況を見て檜葉町に戻ってくるのかなと期待しています。

しかし解除となっても実際に檜葉に戻っている方は少なく、震災以前の風景と比べるとまだ寂しさを感じています。特に夜は外灯が少なく暗いので、こわいと感じる町民が多いのではと感じています。

解除以前は作業員の方が大半を占めているように感じていましたが、ここのところ、檜葉で事業を始める業者の方も多く見かけるようになりました。今後多くの企業が集まり人も増えると思いますが、そういった人を盛り

上げていきたいと思います。また檜葉出身の方が帰ってこられるように、私の店も町民が立ち寄れる場所となれるように頑張っていきたいです。檜葉町が自然に人が集まるような元気で明るい町になって欲しいなと思います。」



● 5年ぶりに再開された、檜葉町の木戸川での鮭漁の様子

檜葉町における研修会の実施

檜葉町では、原子力発電所事故後のダム水の利用に対する不安を感じるなど、水道水への安全性について関心の高い住民の方が多いと考えられることから、生活支援相談員・仮設連絡員に対して、水道水の安全性に関する研修が行われました。

研修会では、木戸ダム、小山浄水場等を見学した後、檜葉町の配水状況の説明を受け、専門家を交えた意見交換が行われました。

当センターでは、水や放射線等の専門家を本研修会に派遣し、開催に協力しました。



●施設見学における専門家と参加者による意見交換の様子

相談員支援センターの活動から

当センターでは、相談員の方に対し、相談窓口の設置、専門家の派遣、研修会の開催等を実施しています。

以下に、最近の活動の一部を紹介します。

●放射線に関する質問

身近な問題である水や食品に関するご質問が多く見られ、例えば、「大人が毎日 10Bq/kg の水を 2 リットル飲み続けた場合の線量の数値」や「栗を茹でることによって放射性セシウムは低減するか」といった、住民の方が日常生活の中で感じた疑問・不安に関連するようなご質問にお答えしています。これまでに受けたこの様なご質問の多くについて、当日中にご回答しているところです。

●専門家の派遣

研修会に専門家を派遣して技術的な観点からの説明を行う、自治体が発する空間線量の測定や内部被ばく検査の測定に専門家を派遣してアドバイスする等の活動をしています。

具体的には、

- ・自治体が発している内部被ばく検査の測定会において、住民の方から出た疑問や不安について自治体が発対応する際に回答・解説について助言を行いました。
- ・自治体が発実施する相談員に対する研修（モニタリングポストの現地確認）に同行し、相談員に対して技術的な説明や、相談員からの質問に発対応しました。



●モニタリングポストの現地確認の様子

当センターでは、今後とも復旧・復興のお役に立てるよう活動してまいります。

MAP



[JR いわき駅より南へ徒歩 7 分]

放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター だより No.5

発行：放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター
連絡先：〒970-8026 福島県いわき市平字小太郎町 2-6 いわきフコク生命ビル 5 階
フリーダイヤル：0120-478-100 FAX：0246-35-5158 E-mail：F-sodan@nsra.or.jp

本だよりは、環境省の平成 27 年度原子力災害影響調査等事業（放射線影響に関する相談員の支援拠点事業）に基づき、作成しています。